

「事業活動と環境保護の両立」 それをすべての基本理念として

JR東日本グループが1992年に制定した基本理念は「事業活動と環境保護の両立」。
この理念のもと、行動指針と数値目標を定めて、具体的な環境保護活動に取り組んでいます。

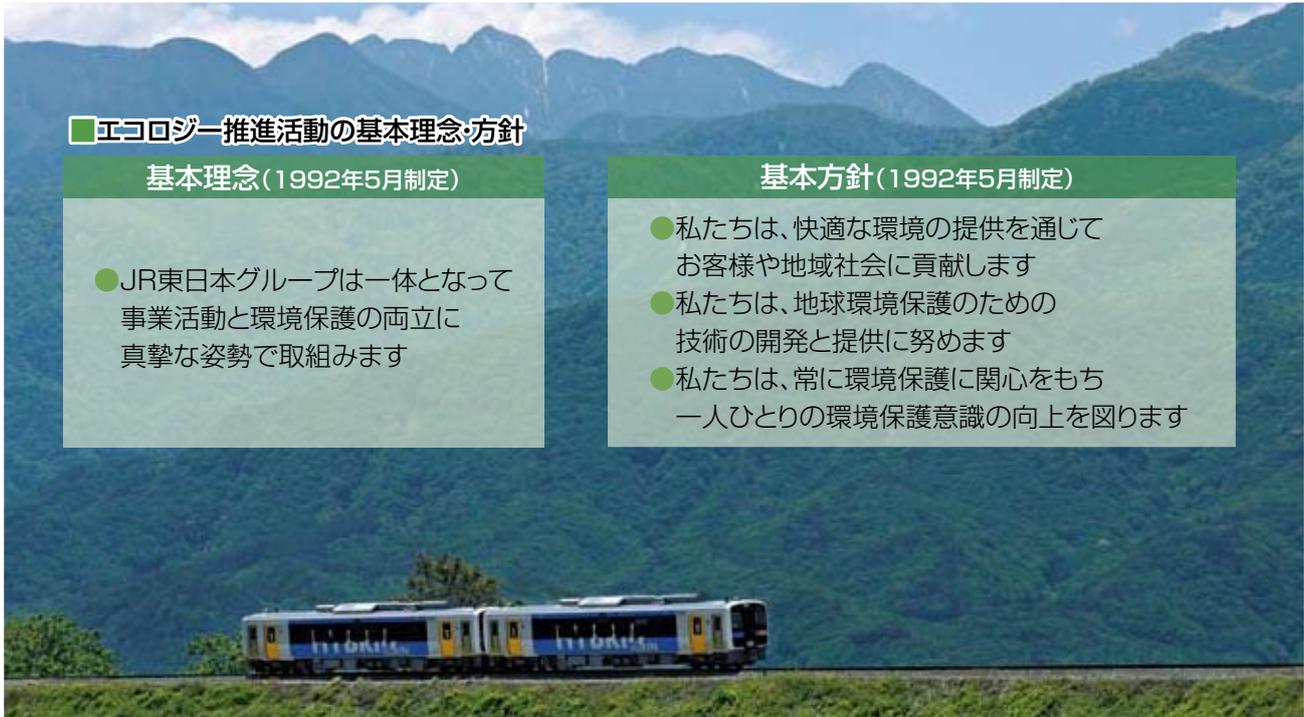
■エコロジー推進活動の基本理念・方針

基本理念(1992年5月制定)

- JR東日本グループは一体となって事業活動と環境保護の両立に真摯な姿勢で取り組みます

基本方針(1992年5月制定)

- 私たちは、快適な環境の提供を通じてお客様や地域社会に貢献します
- 私たちは、地球環境保護のための技術の開発と提供に努めます
- 私たちは、常に環境保護に関心をもち一人ひとりの環境保護意識の向上を図ります



安全

環境

社会

■エコロジー推進活動の行動指針と目標

行動指針(1996年3月制定)

- 1 私たちは、エネルギー使用の一層の効率化や、よりクリーンなエネルギーの導入により、貴重な資源の浪費を防止し、地球温暖化の原因となるCO₂の排出量の削減に努めます。
- 2 私たちは、環境汚染物質やオゾン層を破壊する物質等を法令等に基づいて適正に管理、処理するとともに、可能な限りその削減や代替物質への転換を進めます。
- 3 私たちは、地球の浄化能力の負担を軽くするため、オフィスや事業所、駅、列車等からの様々な廃棄物を適正に処理するとともに、リサイクルとその削減に努め、また再生品、省資源製品の使用拡大に努めます。
- 4 私たちは、多様な生命を育む自然環境を大切にするとともに、列車走行による騒音や振動などの低減に努め地域社会との調和を目指します。
- 5 私たちは、地球環境にやさしい乗り物としての、鉄道の魅力の向上に努めます。

[ホームページに掲載している情報]

URL <http://www.jreast.co.jp/eco/>

資源循環への取り組み

- リサイクルセンターの運営 ●オフィスにおける取り組み ●生活サービス分野の取り組み ●水資源の有効活用 ●お客さまと取り組む環境負荷軽減 ●乗車券類のリデュースとリサイクル ●グリーン調達推進 ●駅のゴミを社内で循環利用

化学物質管理

- オゾン層破壊物質の削減・代替 ●化学物質の管理状況 ●自営火力発電所における取り組み ●ポリ塩化ビフェニル(PCB)の管理

沿線での環境活動

- ゴミ焼却炉のダイオキシン対策 ●景観との調和 ●除草剤の使用を抑制 ●トンネルの湧出水を活用

環境マネジメント

- 各職場からの環境活動の推進 ●環境教育の実施状況 ●環境活動に関する表彰制度 ●ISO14001の取得状況

環境会計と環境経営指標

環境目標の改定

- ◇本年3月末に「グループ経営ビジョン 2020 -挑む-」を発表し、「地球環境問題に積極的かつ長期的に取り組む」ことを掲げました。それを受けて、2008年度を達成年度として取り組んできた環境目標の改定を行うこととします。
- ◇地球温暖化対策については、「グループ経営ビジョン 2020 -挑む-」において鉄道事業のCO₂総排出量の長期的な削減目標を掲げており、この目標達成に向けて、今回、「列車運転用電力量」、「単位輸送量あたり列車運転用電力量」、「駅・オフィス等における省エネ」について、新たに数値目標を設定します。
- ◇資源循環については、従来から取り組んできた「駅・列車ゴミのリサイクル率」、「総合車両センター等で発生する廃棄物のリサイクル率」、「設備工事で発生する廃棄物のリサイクル率」について、さらに高い数値目標を設定し、取り組みを進めます。

●地球温暖化防止対策 JR東日本単体

項目	2008年度目標	新しい目標
鉄道事業のCO ₂ 総排出量	(1990年度比) 22%削減 (215万t-CO ₂)	(1990年度比) 2030年度までに50%削減 276万t-CO ₂ ⇒ 138万t-CO ₂ [138万t-CO ₂ 削減]
		(1990年度比) 2017年度までに32%削減 276万t-CO ₂ ⇒ 188万t-CO ₂ [88万t-CO ₂ 削減]

(注)「グループ経営ビジョン 2020 -挑む-」において発表済

項目	2008年度目標	2010年度目標
省エネルギー車両比率	82%	86%
[新設]列車運転用電力量	—	2%削減(2006年度比) 41.7億kWh ⇒ 40.9億kWh [0.8億kWh削減]
[新設]単位輸送量あたり列車運転用電力量	—	2%削減(2006年度比) 1.85kWh/車キロ ⇒ 1.81kWh/車キロ [0.04kWh/車キロ削減]
[新設]駅・オフィス等における省エネ	—	4.5%削減(2006年度比) 153億MJ ⇒ 146億MJ[7億MJ削減]

●資源循環

項目	2008年度目標	2010年度目標
駅・列車ゴミのリサイクル率	45%	70%
総合車両センター等で発生する廃棄物のリサイクル率	85% ^{*1}	95%
設備工事で発生する廃棄物のリサイクル率	92% ^{*1}	92%

*1 2005年度～2008年度平均値

●その他の環境目標

(騒音対策)

- ・東北・上越新幹線の騒音対策75dB以下…100% (2009年度達成目標) (騒音対策対象地域について)

(グループ会社)

- ・全グループ会社が具体的な数値目標を設定【新設】

(JR東日本グループ共通目標)

- ・事務用紙の再生紙利用率…100% (2010年度達成目標)
- ・毎年具体的な環境保護活動(森づくりへの参加等)

コラム●各地のエコ活動から

八王子支社 上野原駅

お客さまに自作ポスターで分別呼びかけ

大量に出る古新聞・雑誌類と一般ゴミを確実に分別・回収し、資源とするため、2006年4月、駅内に自作ポスターと専用回収箱を設置。お客さまにもご協力いただきながら回収された新聞・雑誌は、地区育成会へ寄付され、リサイクル業者への売却益が育成会の運営費として活用されています。分



別・リサイクルを進めたことで、駅から出るゴミ総量も減り、塵埃処理コストを約1割削減できました。

秋田支社 秋田総合車両センター

成果を「見える化」してやる気を喚起

2008年度までの中期目標(2003年度基準)を、電気使用量-5%、水使用量-15%、廃棄物排出量-51%と設定。その進捗実績をポスター掲示することでセンター内の啓発をはかり、着実な成果へと結びつけています。さらに毎月の周辺美化運動、エコフェスティバルや植樹活動への参加、社員や協力会社の方々が職場や家庭で行う身近なエコ活動を紹介する冊子「私のエコ活動」の発行なども行っています。

